

大阪府中央卸売市場 経営展望の評価
項目① 基本戦略の実施状況

経営展望における基本戦略	進捗状況 (◎/○/△/×)					H28年度の実績	H24～H28の総括	実施主体	備考
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
1. 市場外部との連携と情報発信の強化									
①提携ショップの推進	○	○	○	○	○	市場名称使用承認： 17件	ホテルのレストランにおける「市場食材を使った商品」の定期販売など、提携ショップと連携した取り組みを進めた。 ○市場名称使用承認： 40件(H24～H28)	共同実施	
②冠イベントの推進	○	○	○	○	○	イベント開催回数： イオン茨木店等 30回	「大阪府中央卸売市場 市場まつり」を量販店、百貨店等で開催し、市場の知名度向上等に取り組んだ。 ○イベント開催店舗(H24～H28)：イオン、近鉄百貨店、阪神百貨店、梅田大丸、阪急オアシス、ダイエー、大阪新阪急ホテル等	共同実施	
③卸・仲卸連携による産地との交流	○	◎	◎	◎	◎	産地との連携事業： 徳島県等 20回	大学との連携の中で、卸業者とともに徳島県、岐阜県、鳥取県といった産地と講義、実習を行った。 ○徳島県、和歌山県、鳥取県、佐賀県、大分県、鹿児島県、熊本県、福島県、岐阜県、北海道等(H24～H28)	共同実施	
④卸・仲卸連携による量販店対応の推進	○	○	○	◎	◎	新規連携： 青果部1件(京阪百貨店)	量販店でのイベント開催を通じ、意見交換できる場を設けることで、市場の集荷力向上を図った。 ○近鉄奈良店(H25～)、梅田大丸、松坂屋高槻店(H26～)、阪神百貨店(H27～)、京阪百貨店(H28～)	共同実施	
⑤大学や食育関係団体等と連携した取組の推進	○	◎	◎	◎	◎	大学との連携事業： 追手門学院大等 32件	大学と連携し、産地やバイヤーからのレシピ開発や売り場提案などの要望をかなえるとともに、農産物の消費拡大を若年層に訴えた。 ○追手門学院大学、成蹊女子大学、梅花女子大学、大阪大学医学部(H24～)、立命館大学(H28～)	共同実施	
⑥場内のプロ集団による情報発信の推進	○	◎	◎	◎	◎	市場見学者の受入れ： 3,050人 お魚料理教室の開催： 110人	場内事業者の知識と経験の発信、市場の知名度向上のため、市場見学者の積極的な受入れ及び水産物卸協同組合との連携によるお魚料理教室を実施した。 ○市場見学者： 12,969人、お魚料理教室： 705人	管理センター	
⑦サイン(棟)の整備・改修	×	◎	◎	◎	◎	東門自立サインを設置した。	(H25)管理棟玄関前の正門・北門・西門自立サイン(計3カ所)を改修 (H28)東門自立サインを設置 市場知名度と市場利用者の利便性の向上を図った。	管理センター	
⑧市場ゆるキャラの制作・運営	×	◎	◎	◎	◎	「せりちゃん」登場イベント数： 市場まつり等 32回	市場ゆるキャラ「せりちゃん」が各種イベントに参加。府市場のPR大使として市場の知名度を高めた。 ○「せりちゃん」登場イベント数： 82回(H25～28)	管理センター	
2. 市場内への外部活力の導入									
①ネット販売や提携ショップを通じた新たな消費者ニーズの取り込み	○	○	○	○	○	ネットショップ掲載商品： 70品目	商品の掲載、市場のイベントや取り組みを紹介し、市場のPR、販売促進に寄与することができた。 ○ネットショップ出店の仲卸業者： 10業者(H24～H28)	共同実施	
②新規仲卸業者の誘致の検討	△	△	△	△	△	暖簾分けによる新規参入 +1(水産物部)	市場活性化への取り組みを強化することで、引き続き新規仲卸業者の誘致に取り組む。 ○新規参入+4【青果+1、水産+3】、廃業▲31【青果▲17、水産▲14】(H24～H28)	管理センター	
③近郊売場の内容充実と売買参加者への新規参入の促進	△	△	△	△	△	売買参加者数： ▲9(98→89)	大阪産(もん)チームとの連携等により、引き続き近郊売場の充実策を検討する。 ○売買参加者数： H24当初比 ▲29(118→89)	管理センター	
④市場の魅力高める関連事業者の誘致	△	○	○	○	○	調剤薬局の誘致(8/1 開店)	市場利用者の利便性向上に寄与した。 ○誘致実績： 診療所、薬局、鍼灸院、金融機関(H24～H28)	管理センター	

◎：実施し、顕著な成果を上げているもの
○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
△：実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
×：未実施

経営展望における基本戦略	進捗状況 (◎/○/△/×)					H28年度の実績	H24～H28の総括	実施主体	備考
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
3. 定温流通・加工機能の充実									
①場内冷蔵庫の改修と施設整備の実施	△	△	◎	◎	◎	冷凍庫内冷却器の霜取り用温水タンク(デフロストタンク)の改修工事を実施した。	(H26)場内冷蔵庫内に保税倉庫に指定、西冷蔵庫の温度帯変更 (H27)卸売棟2階プラットホームに大屋根等の改修工事を実施した。	共同実施	
②場内業者による自主的な施設整備	○	○	○	○	○	仲卸業者により店舗内に冷蔵庫等が設置(6件)された。	鉄道貨物専用線跡地に保冷库、製氷機(2t)、冷蔵庫等の設置(計43件)他、場内業者による自主的な施設整備が実施された。	場内業者	
③場内冷蔵庫の賃料見直し	×	×	○	○	○	三者会議(開設者・指定管理者・冷蔵庫事業者)により経営改善に取り組んだ。	安定的な運営維持のために、今後も三者会議による経営状況の把握を継続。	共同実施	
4. 清潔で美しい市場づくり									
①トイレなど維持改修のスピードアップ	○	◎	◎	◎	◎	管理棟1階～4階(8ヶ所)のトイレ改修工事を実施した。	市場内トイレの全面改修を実施し、市場利用者の快適性の向上と市場のイメージアップに大いに寄与した。 ○大阪府:19カ所 管理センター:63カ所 計:82カ所(H24～H28)	共同実施	
②場内啓発と清掃の徹底	○	○	○	◎	◎	場内一斉大掃除を年度内に4回実施した。	場内一斉大掃除の実施や清掃区域の拡大など、場内業者、指定管理者と共に、清潔で美しい市場を実現した。	共同実施	
③場内業者における品質管理対策の強化と食品衛生検査所の検査	○	○	○	○	○	食品衛生検査所において以下の検査を実施した。 ・細菌検査:855検体、2,315項目 ・理化学検査:1,245検体、11,512項目	品質管理高度化規範の策定指導など、場内事業者の衛生意識向上に取り組んだ。 ○品質管理高度化規範の策定状況 卸:4社、仲卸:6社(H24～H28)	府実施	
④廃棄物減量化の推進	○	○	○	○	◎	生ごみ(青果くず、魚あら)を外部の施設でリサイクル処理した。 ・ごみ焼却量 4,026t ・生ごみリサイクル量 1,787t	生ごみのリサイクル処理や分別の徹底などにより廃棄物の大幅な減量化を達成し、併せてごみ処分に係るコストも大幅に削減できた。 ○ごみ焼却 (H24) 6,341t → (H28) 4,026t (▲36.5%) (H24) 38,047千円 → (H28) 24,154千円(▲36.5%) ○生ごみリサイクル (H24) 2,852t → (H28) 1,787t (▲37.3%) (H24) 46,058千円 → (H28) 20,869千円(▲54.7%)	管理センター	
⑤カラス等有害生物対策の強化	○	○	◎	◎	◎	・カラスの捕獲を年14回実施(捕獲数358羽)した。	定期的なカラスの捕獲により有害生物対策を実施した。 ○カラスの捕獲(H24)8回 153羽 → (H28)14回 358羽	管理センター	
⑥分煙の徹底	△	○	○	△	○	・禁煙大型パネル(8カ所)・ステッカー(119カ所)の貼付による啓発のほか、社員の巡回による吸殻回収、啓発指導を実施した。	喫煙室の整備、防犯カメラの設置(計100台)、社員の巡回による吸殻回収、啓発指導を実施する等分煙の徹底を図った。	共同実施	
5. 安全で環境にやさしい市場づくり									
①省エネの推進と新エネ利用の検討	○	○	◎	◎	◎	照明のLED化を進めるとともに、省エネ機器(トッランナー変圧器等)を導入し青果棟第1電気室の改修工事を実施した。	(H26)燃料電池を導入 (H27)青果棟第2電気室、冷蔵庫棟昇降機(1基) (H28)青果棟第1電気室 照明のLED化や施設整備を計画どおりに実施した。	共同実施	
②自動車環境規制の徹底と低公害車の導入促進	△	△	△	△	○	府の交通環境課が実施する流入車規制の立入検査(5/20、6/3)に協力するとともに流入車規制に関する啓発を実施した。	府の交通環境課が実施する流入車規制の立入検査に協力するとともに流入車規制に関する啓発を実施し、自動車環境規制の徹底を図った。 ○検査台数 (H24)550台 → (H28)232台 内非適合車 (H24)11台 → (H28)1台	共同実施	
③市場内外の交通ルール徹底	△	○	◎	◎	◎	H29.3月安全運転講習会を実施した。 ・講習会参加人数:26人	不法駐車を排除するため、ガードレール等を設置するとともに、毎年度安全運転講習会を実施し、市場内外の交通ルールの徹底を図った。 ○交通事故 (H24)81件 → (H28)48件(▲40.7%)	管理センター	
④市場周辺の違法駐車等への対応	△	△	△	○	○	市場周辺の違法駐車等に対して、北大阪流通業務団地周辺道路問題対策協議会(茨木警察、府茨木土木事務所、茨木市等)と共同で交通安全啓発活動をH28年9月に実施し、関係者18名参加、啓発用ピラ42枚を配布した。	毎年度、北大阪流通業務団地周辺道路問題対策協議会で交通安全啓発活動を実施し、一定の成果はあった。	共同実施	

◎ : 実施し、顕著な成果を上げているもの
○ : 実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
△ : 実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
× : 未実施

経営展望における基本戦略	進捗状況 (◎/○/△/×)					H28年度の実績	H24～H28の総括	実施主体	備考
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
6. 災害等に強い市場づくり									
①耐震補強の実施	○	○	○	◎	◎	—	(H23・24) 冷蔵庫棟 (H26・27) 管理棟・水産棟 耐震化が必要な市場施設の耐震補強工事が完了した。	府実施	
②BCP(業務継続計画)の策定	△	△	○	○	○	場内関係者担当者会議の開催(1月) ・現計画について認識共有を図った。	大阪府中央卸売市場版BCPを策定し(H26)、場内関係者に周知するとともに、場内事業者のBCP策定を進めるため、関係者担当者会議を設置した。	府実施	
③非常用発電設備の強化	○	○	○	○	○	燃料電池施設の安定的な運用に向け、発電事業者であるブルームエナジージャパン㈱と適宜協議を行った。	(H26) 燃料電池の導入 (H27) 非常用自家発電機設備改修工事を実施した。	共同実施	
7. 市場機能の再構築									
①-1 仲卸業者の規模拡大	△	○	○	○	○	仲卸業者数: ▲4 (111→107)	経営分析結果を基に検査時に助言することにより、引き続き経営体質の強化を支援する。 ○仲卸業者数: H24当初比 ▲27 (134→107) (青果70→54、水産64→53)	府実施	
-2 空店舗の活用	△	○	△	△	○	(使用許可等実績) 新規12件、返還8件	引き続き空店舗の活用を働きかける。 ○仲卸売場稼働率 (H24) 92.7% ⇒ (H28) 91.9%	管理センター	
② 荷捌き場、駐車場の再編整備	△	○	○	○	○	水産立体駐車場B棟塗膜防水修繕工事を実施し、不法駐車を有料駐車場へ2台誘導した。	(H25) 青果立体駐車場(A棟) (H26) 水産立体駐車場(A棟) (H27) 青果立体駐車場(B棟) (H28) 水産立体駐車場(B棟) 計4ヶ所の塗膜防水修繕工事を実施し、駐車場の再編整備に取り組んだ。	共同実施	
③ 場内における駐車場利用の見直しと地上部分の有効活用	△	○	○	○	○	施設使用状況平面図を作成するための情報収集を行った。	今後、施設利用状況平面図を作成し、空きスペースの有効活用を検討していく。	共同実施	
④ 加工食品卸売場と一体となった活性化	△	△	○	○	○	・市場開放デーの開催 (H28.11.13)	毎年度、3万人以上の集客を達成している。	府実施	

(参考)

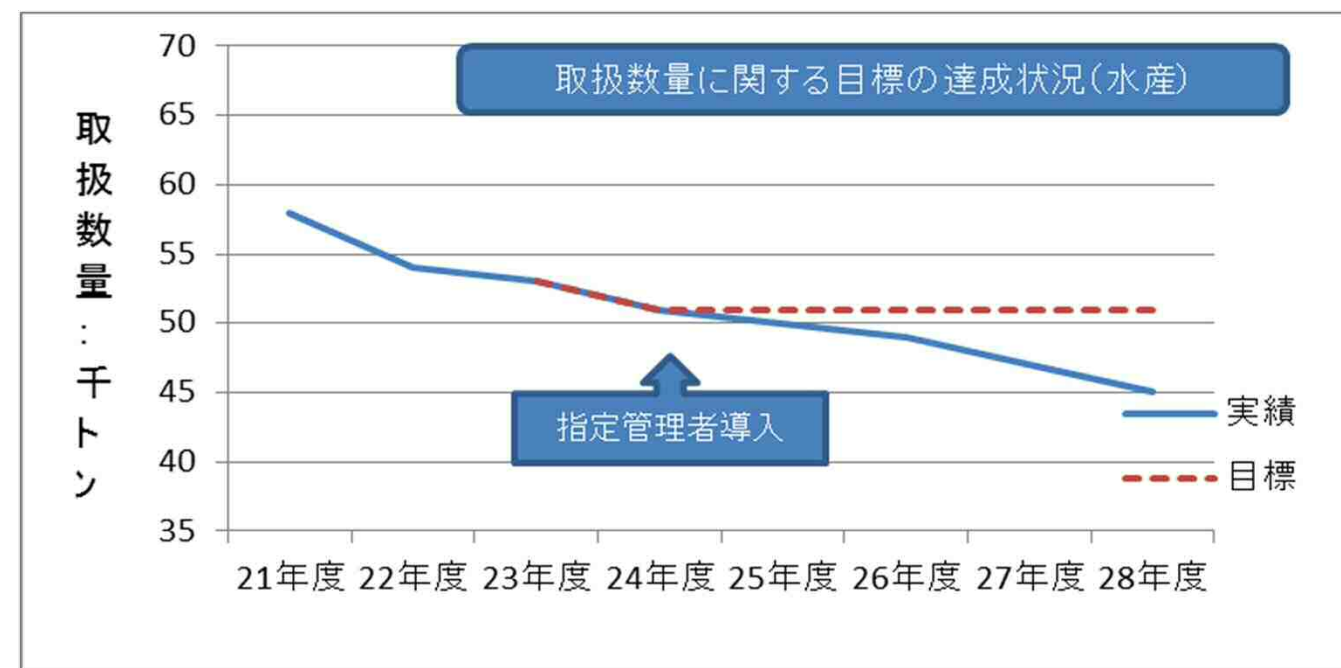
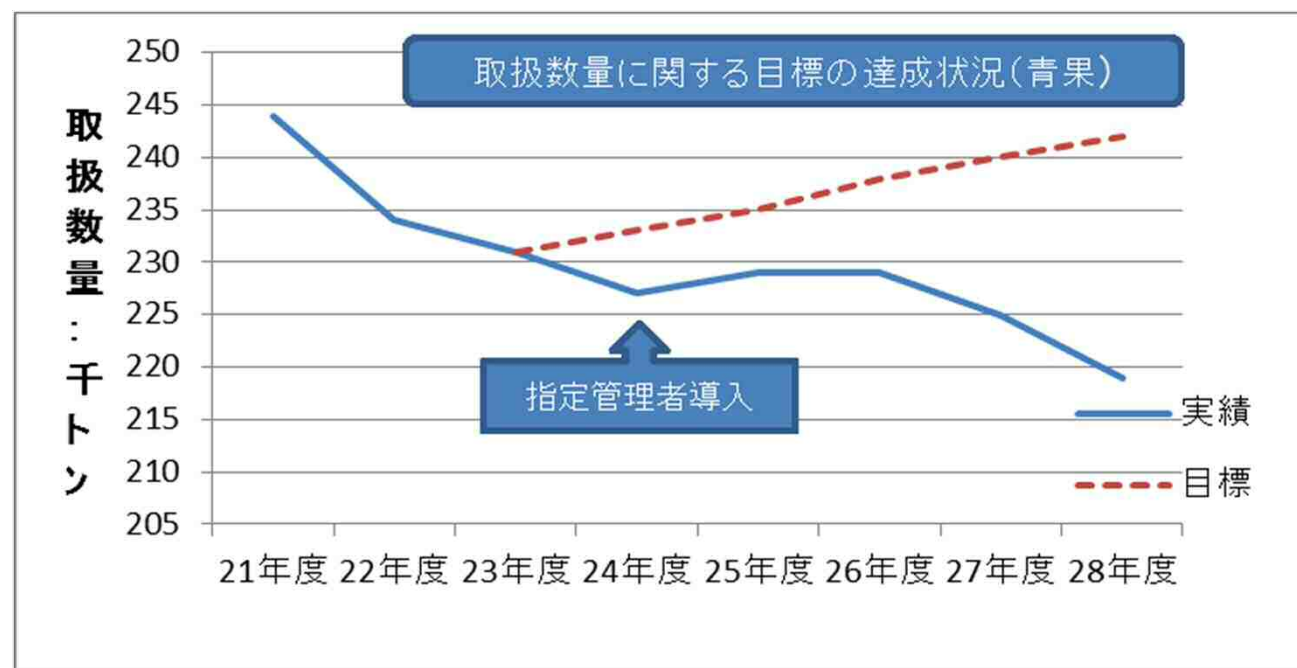
	H28年度の実績	H24～H28の総括	実施主体	備考
卸売業者及び仲卸業者に対する検査・経営指導等の実施				
(1) 卸売業者に対する検査・経営指導等	(検査実績) 開設者検査: 水産物部2社	国検査: 延べ4社 開設者検査: 延べ8社	府実施	
(2) 仲卸業者に対する検査・経営指導等	(検査等実績) 通常検査: 青果6社、水産7社 経営面談: 青果3社、水産2社	通常検査: 延べ69社 経営面談: 延べ54社	府実施	
(3) 直接集荷に係る立入検査	(検査実績) 青果11社、水産16社	各年度に実施した立入検査等を通じて、粘り強く指導を継続した結果、H28年度末をもって届出漏れは解消した。 ○届出額の推移: 青果 (H24) 6,379百万円 ⇒ (H28) 11,355百万円 水産 (H24) 871百万円 ⇒ (H28) 1,471百万円	府実施	

進捗状況の内訳(個数)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
◎	0	6	10	13	14
○	16	19	18	15	17
△	14	7	5	5	2
×	3	1	0	0	0

◎ : 実施し、顕著な成果を上げているもの
○ : 実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
△ : 実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
× : 未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の評価

項目② 取扱数量に関する目標の達成状況

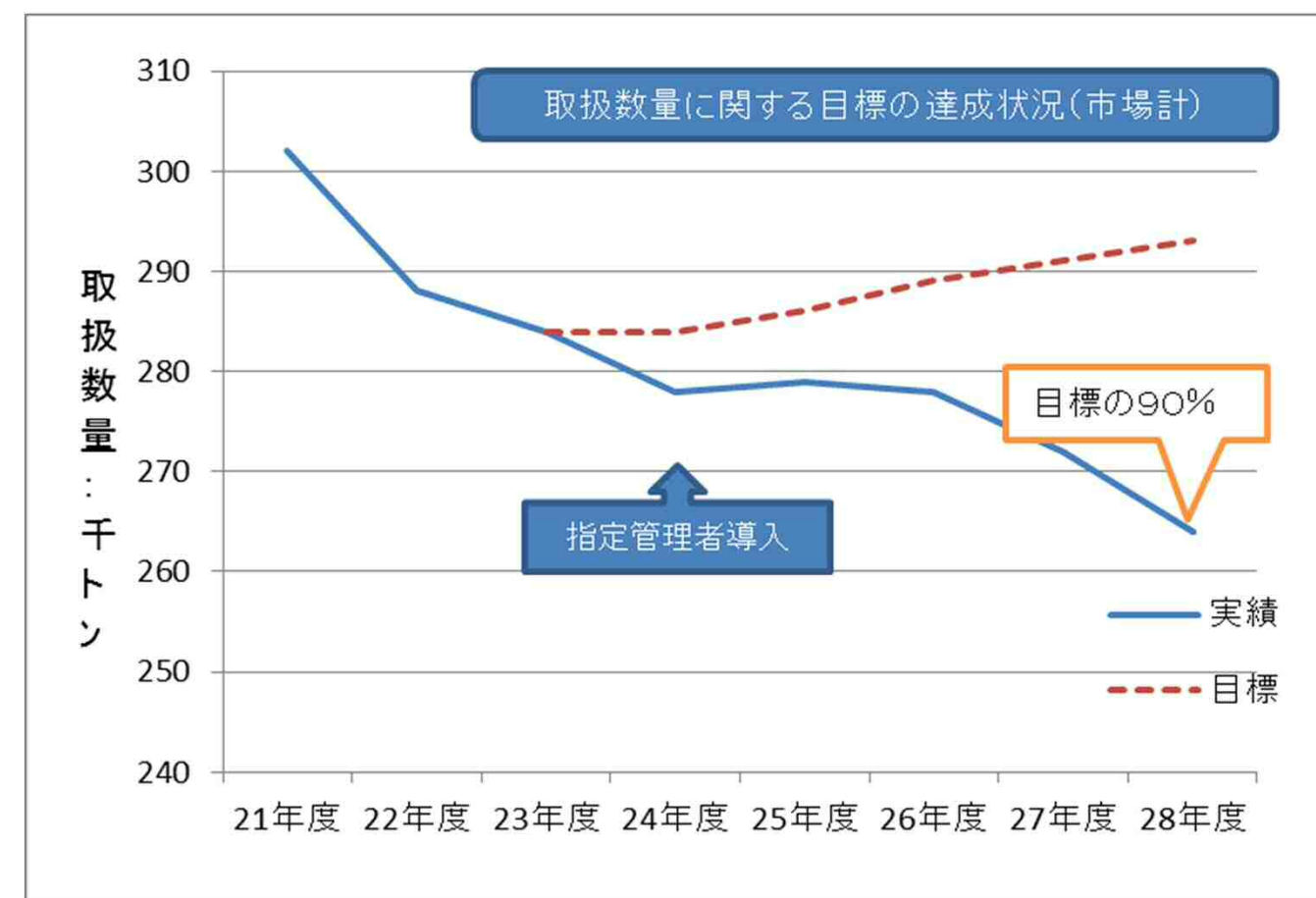


【取扱数量の目標】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青果	233,000	235,300	237,600	239,900	242,200
水産物	51,000	51,000	51,000	51,000	51,000
合計	284,000	286,300	288,600	290,900	293,200

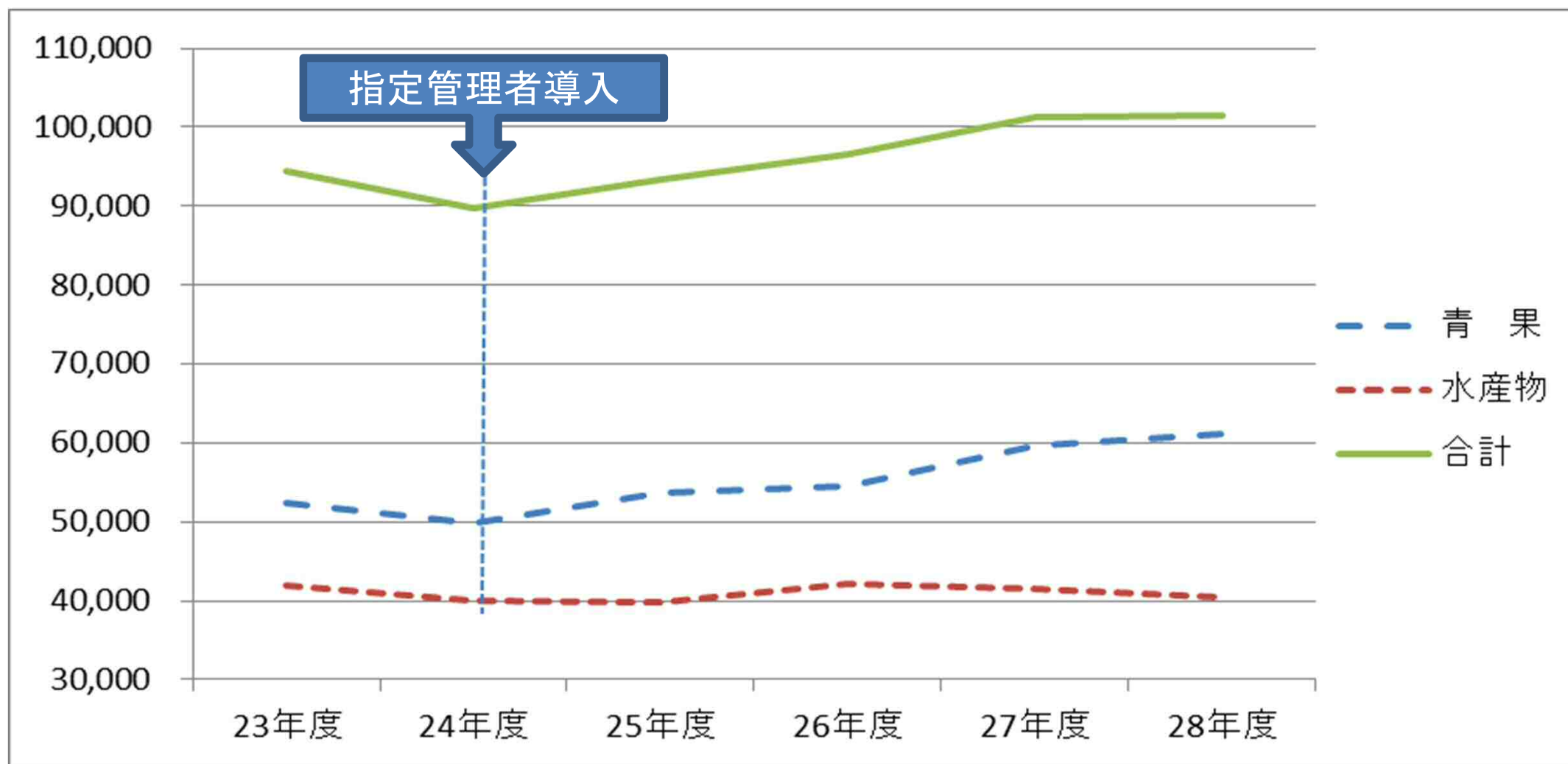
【平成28年度の実績】

	27年度実績	28年度実績	対前年比	目標達成率
青果	225,083 トン	219,218 トン	97 %	91 %
水産物	46,902 トン	44,764 トン	95 %	88 %
合計	271,985 トン	263,982 トン	97 %	90 %



<参考>

取扱金額の状況



【取扱金額の実績】

(単位:百万円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青果	52,465	49,821	53,619	54,433	59,704	61,177
水産物	41,938	39,973	39,767	42,240	41,548	40,370
合計	94,403	89,794	93,386	96,673	101,252	101,547

大阪府中央卸売市場 経営展望の評価

項目③ 施設整備の実施状況

●対象期間中に施設整備を行うもの

施設整備の名称	評価	実施状況
1 特別高圧受変電設備改修工事	○	平成24年度 計画通り終了
2 電気室高圧受変電設備改修工事	△	平成24～28年度（青果棟、水産棟）終了。平成29年度（冷蔵庫棟、管理棟、一般加工棟）実施予定
3 低圧幹線（バスダクト）設備改修工事	△	収支状況を踏まえ、平成26～28年度（水産棟、青果棟Aブロック）終了。H29年度以降も収支状況を考慮し、実施予定
4 昇降機設備改修工事（10基分）	△	平成20～26年度（青果棟、水産棟、管理棟（内1基））終了。平成29年度以降実施予定（管理棟1基）
5 昇降機設備改修工事（8基分）	△	平成25～27年度（青果棟（内6基））終了。平成30年度実施予定（青果棟2基）
6 冷蔵庫棟耐震改修工事	○	平成24年度 計画通り終了
7 管理棟耐震改修工事	○	平成27年度 計画通り終了
8 水産棟耐震改修工事	○	平成27年度 計画通り終了
9 非常用発電設備改修工事	○	平成27年度 計画通り終了

○は終了 △は実施中 ×は未実施

●指定管理者において緊急修繕・施設整備を行ったもの【工事費 300万円以上】

【平成24年度】

修繕・施設整備の名称
1 青果・水産仲卸棟トイレ改修工事
2 管理棟ネオンサイン改修工事
3 冷蔵庫棟・高架下棟冷凍機分解整備工事
4 水産事務所回り駐車場車止め修繕工事
5 有料駐車場所有者ネームプレート修繕工事
6 青果ごみ置き場防犯カメラ配線修繕工事

【平成25年度】

修繕・施設整備の名称
1 青果仲卸棟各ブロック東側トイレ修繕工事
2 青果・水産卸棟3階事務所前通路床修繕工事
3 水産卸棟4階事務所前通路全面修繕工事
4 青果・水産卸棟3階廊下修繕工事
5 管理棟・青果棟2階連絡通路修繕工事
6 冷凍機分解整備工事
7 青果・水産大通り照明装置照度アップ(LED)
8 青果買荷保管所前ほか側溝改修工事
9 正門・西門・北門サイン搭(LED)整備工事
10 青果・水産2階回廊床・手摺修繕工事

【平成26年度】

修繕・施設整備の名称
1 水産卸棟A・Bブロック2階西側便所改修工事
2 青果卸棟Cブロック2階西側便所改修工事
3 水産卸棟A・Bブロック2階東側便所改修工事
4 青果卸棟Cブロック2階東側便所改修工事
5 青果卸棟中2階便所改修工事
6 水産卸棟Bブロック低圧幹線改修工事
7 水産卸棟有圧換気扇増設工事
8 外周フェンス改修工事
9 連結送水管整備修繕工事
10 製氷棟冷凍機修繕工事
11 水産大通り舗装修繕工事

【平成27年度】

修繕・施設整備の名称
1 水産卸棟A1コア3階便所外3カ所修繕工事
2 水産卸棟A1コア4階便所外3カ所修繕工事
3 青果卸棟A3コア3階便所外1カ所修繕工事
4 青果棟近郷売場屋外便所修繕工事
5 青果立体駐車場B棟塗膜防水修繕工事
6 青果2階大屋根整備工事
7 水産セリ場外1カ所舗装改修工事
8 青果卸棟A1コア3階便所外1ヶ所修繕工事
9 青果B棟低圧幹線改修工事

【平成28年度】

修繕・施設整備の名称
1 青果卸棟2階回廊塗装修繕工事
2 水産卸棟2階回廊塗装修繕工事
3 管理棟屋上床面他修繕工事
4 水産軒下通り1～16番柱間舗装修繕工事
5 管理棟6～RF階PS内配管修繕工事
6 管理棟7階大会議室壁他修繕工事
7 水産大通り西側通路舗装修繕工事
8 青果卸棟1～7通り間屋根修繕工事
9 旧コンポスト跡南西道路舗装修繕工事

大阪府中央卸売市場 主な施設整備の実績(H24~H28)

平成24年度	○大規模改修 特別高圧受変電設備改修工事 中央監視設備改修工事 冷蔵庫棟耐震改修工事(H23~H24) 高圧受変電設備改修工事(水産棟第1電気室) 荷物用昇降機設備改修工事(青果棟A2)	≪費用(税込み)≫ ○大規模改修 開設者 532百万円 ○修繕 ※緊急修繕等含む 開設者 69百万円 指定管 53百万円 (計 122百万円) ○活性化事業(ハード・ソフト) 指定管 59百万円	合計 713百万円
	○主な修繕・活性化事業(ハード) トイレ改修工事 管理棟ネオンサイン改修工事 冷蔵庫棟・高架下冷蔵庫冷凍機分解整備工事 駐車場車止め修繕工事(水産棟)		
平成25年度	○大規模改修 高圧受変電設備改修工事(青果棟第3電気室) 管理棟個別空調設置工事	≪費用(税込み)≫ ○大規模改修 開設者 158百万円 ○修繕 ※緊急修繕等含む 開設者 119百万円 指定管 124百万円 (計 243百万円) ○活性化事業(ハード・ソフト) 指定管 112百万円	合計 513百万円
	○主な修繕・活性化事業(ハード) トイレ改修工事 サイン塔整備工事 立体駐車場塗膜防水修繕工事(青果A棟) 水産卸棟等通路修繕工事 等		
平成26年度	○大規模改修 高圧受変電設備改修工事(水産棟第2電気室) 昇降機設備改修工事(青果棟A2コア他3件) 燃料電池設備付帯工事 管理棟・水産棟耐震改修工事(H26~H27)	≪費用(税込み)≫ ○大規模改修 開設者 268百万円 ○修繕 ※緊急修繕等含む 開設者 127百万円 指定管 74百万円 府依頼 65百万円 (計 266百万円) ○活性化事業(ハード・ソフト) 指定管 129百万円	合計 663百万円
	○主な修繕・活性化事業(ハード) トイレ改修工事 立体駐車場塗膜防水修繕工事(水産A棟) (府依頼事業) 低圧幹線改修工事(水産Bブロック)		
平成27年度	○大規模改修 管理棟・水産棟耐震改修工事(H26~H27) 非常用自家発電設備改修工事 冷蔵庫棟荷物昇降機設備改修工事 高圧受変電設備改修工事(青果棟第2電気室)	≪費用(税込み)≫ ○大規模改修 開設者 477百万円 ○修繕 ※緊急修繕等含む 開設者 59百万円 指定管 113百万円 府依頼 233百万円 (計 405百万円) ○活性化事業(ハード・ソフト) 指定管 119百万円	合計 1,001百万円
	○主な修繕・活性化事業(ハード) トイレ改修工事 非常用放送設備改修工事 等 (府依頼事業) 立体駐車場塗膜防水修繕工事(青果Bブロック) 低圧幹線改修工事(青果Bブロック) 水産セリ場外1カ所舗装改修工事 青果2階大屋根整備工事		
平成28年度	○大規模改修 高圧受変電設備改修工事(青果棟第1電気室)	≪費用(税込み)≫ ○大規模改修 開設者 114百万円 ○修繕 ※緊急修繕等含む 開設者 31百万円 指定管 129百万円 府依頼 144百万円 (計 304百万円) ○活性化事業(ハード・ソフト) 指定管 97百万円	合計 515百万円
	○主な修繕・活性化事業(ハード) 計量器取替工事 トイレ改修工事 等 (府依頼事業) 低圧幹線改修工事(青果Aブロック) 立体駐車場塗膜防水修繕工事(水産Bブロック) 高架下冷蔵庫棟デフロストタンク更新工事		

※ H24~H28 総計
 ○建設改良(開設者) 1,549百万円(起債 775百万円)
 ○修繕(開設者) 405百万円
 ○修繕(指定管理者) 493百万円
 ○府依頼事業(納付金調整) 442百万円
 ○活性化事業(指定管理者) 516百万円
 計 3,405百万円

大阪府中央卸売市場 経営展望の評価

項目④ 収支計画の達成状況

(単位:百万円、税込)

【市場会計の収支計画】(開設者会計と指定管理者会計の合算、納付金は計上せず)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市場事業収益(a)	1,835	1,836	1,834	1,839	1,843
営業収益	1,673	1,674	1,676	1,677	1,679
売上高割利用料金	239	241	242	244	245
施設利用料金	1,057	1,057	1,057	1,057	1,057
雑収益	377	377	377	377	377
営業外収益	162	162	158	162	164
市場事業費用(b)	2,036	2,076	2,028	2,059	1,957
営業費用	1,989	2,025	1,975	1,998	1,892
市場管理費	1,578	1,551	1,499	1,499	1,499
減価償却費等(c)	411	474	477	499	393
営業外費用	46	50	52	60	65
予備費	1	1	1	1	1

【実績】

24年度決算	計画との比較	25年度決算	計画との比較	26年度決算	計画との比較	27年度決算	計画との比較	28年度決算	計画との比較	主な増減要因
1,802	▲ 33	1,852	16	2,048	214	2,109	270	1,966	123	
1,651	▲ 22	1,694	20	1,741	65	1,815	138	1,750	71	
222	▲ 17	232	▲ 9	239	▲ 3	251	7	251	6	取扱金額の増加
1,039	▲ 18	1,032	▲ 25	1,051	▲ 6	1,059	2	1,050	▲ 7	施設利用面積の減少
390	13	430	53	451	74	505	128	449	72	光熱水費単価の増加
151	▲ 11	158	▲ 4	307	149	294	132	216	52	地方公営企業会計制度の変更に伴う増加
1,864	▲ 172	2,075	▲ 1	2,276	248	2,366	307	2,129	172	
1,800	▲ 189	2,004	▲ 21	2,201	226	2,345	347	2,066	174	
1,385	▲ 193	1,557	6	1,601	102	1,823	324	1,556	57	修繕費、活性化対策費の増加
415	4	447	▲ 27	600	123	522	23	510	117	地方公営企業会計制度の変更に伴う増加
64	18	71	21	75	23	21	▲ 39	63	▲ 2	
0	▲ 1	0	▲ 1	0	▲ 1	0	▲ 1	0	▲ 1	

単年度損益(a)-(b)	▲ 237	▲ 256	▲ 240	▲ 250	▲ 133
減価償却費等を除いた資金ベースの収支差額(a)-(b)-(c)	174	218	237	249	260

▲ 87	150	▲ 231	25	▲ 248	▲ 8	▲ 292	▲ 42	▲ 172	▲ 39	<ul style="list-style-type: none"> 地方公営企業会計制度の変更に伴い、市場事業費用、収益ともに増加。 単年度損益は、市場事業費用の伸びが大きく計画と比べ39百万円マイナス。 資金ベース(現金収支のみ)では、計画と比べ15百万円マイナス。
328	154	216	▲ 2	204	▲ 33	116	▲ 133	245	▲ 15	

【指定管理者の修繕費・活性化対策費】

(単位:百万円、税込)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	24年度決算	達成度(%)	25年度決算	達成度(%)	26年度決算	達成度(%)	27年度決算	達成度(%)	28年度決算	達成度(%)	備考
修繕費	53	53	54	54	54	53	100%	124	234%	74	137%	113	209%	129	239%	施設の維持・補修に大きく貢献
活性化対策費	61	61	63	63	63	59	97%	112	184%	128	203%	126	200%	97	154%	28年度は、うち27百万円を市場に寄付。活性化に大きく貢献

市場事業資本的収入	326	162	477	268	147	251	▲ 75	102	▲ 60	105	▲ 372	232	▲ 36	101	▲ 46	
企業債	305	140	455	245	123	230	▲ 75	75	▲ 65	75	▲ 380	200	▲ 45	63	▲ 60	建設改良費の圧縮に伴う企業債発行の減少
出資金	21	22	22	23	24	21	0	27	5	30	8	32	9	38	14	
市場事業資本的支出	800	387	966	628	374	575	▲ 225	213	▲ 174	327	▲ 639	540	▲ 88	203	▲ 171	
建設改良費	757	343	922	583	327	532	▲ 225	158	▲ 185	268	▲ 654	477	▲ 106	127	▲ 200	大規模改修に係る経費の入札による圧縮等
企業債償還金	43	44	45	46	47	43	0	55	11	59	14	63	17	76	29	